



【基本施策の目的】

障がいのある市民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、自立した日常生活または社会生活を営み、安心して暮らすことができる環境をつくります。

【基本施策の今後の優先度】

判定区分	基本施策における課題の状況及び対応策
	<p>障がい福祉施策の基本施策の指標値は目指す方向性が上向き方向であり、実績における過去からの推移は、横ばい及び上昇傾向であるので、障がいのある人の自立に向けた取り組みを今後もしっかりと継続していく必要がある。障がいのある人の社会参加がより進むことは、市の活力を押し上げるものになることから、重要な施策であると考えられる。</p> <p>一方で、同一分野内で比較すると、地域における高齢者の見守り支えあいや地域包括ケアシステムの考え方が障がい分野にも広がってきたことにより、地域福祉の取り組みが重要であることから、同一分野内における今後の経営資源の配分の優先度が普通と判断した。</p>

【指標の分析】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、今後の対応
平成24年度以降に施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数(累計)	人	実績	0	4	4	4	4	<p>地域生活の場となるグループホームについては、第2次小牧市障がい者計画(後期計画)に基づき整備促進に努め、事業所数も年々増加している。しかしながら、施設入所者の現状への満足度が高いことや家族の意向により、地域生活への移行は低い値で推移している。</p>	<p>在宅生活を支える基盤の整備充実が進むことにより、地域移行が進むことが考えられる。引き続きその基盤のひとつであるグループホームの整備促進に努めていく。</p>
		目指す方向性							
グループホーム利用者数	人	実績	31	35	47	65	73	<p>第2次小牧市障がい者計画(後期計画)に基づきグループホームの整備促進に努めているところである。また、事業所数も年々増加している状況にあり、利用者数は今後も増加の見込である。</p>	<p>左欄記載のとおり、利用者数は今後も増加の見込みである。地域移行を進めるための重要な資源となるグループホームの整備促進を継続的に努めていくとともに、運営費の助成についても引き続き検討する。</p>
		目指す方向性							

【施策推進事業の考え方】

経常事業	削減に関する具体的な考え方	—
実施事業計画	資源投入の考え方	—

展開方向1	相談支援体制を整備します										
	目的 ○障がいのある人および保護者が安心した生活を送ることができる環境を整備します。										
	所管課 長寿・障がい福祉課										
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容		
相談の件数	件	実績		6,695	9,570	10,465	9,820	9,639	<p>相談件数は、精神障害者の頻回な電話相談などもその都度カウントするためその影響を考慮すると概ね横ばいで推移しているものと捉えている。しかしながら、主要な相談支援事業所において、相談員が不足した時期があったことの影響も少しあったと考える。</p>	<p>今後は障害の重複、介護者の高齢化など、ケースの複雑化、多様化、困難化も進むことから、相談件数は増加することが見込まれる。このため、相談体制の一層の充実が必要であり、相談事業所の体制強化のほか、自立支援協議会の連絡会における事例検討等の研修などの取り組みにより、質の向上や関係機関の連携に取り組む。</p>	
		目指す方向性	↑								
相談支援専門員の数	人	実績		9	17	17	17	20	<p>平成26年度は、障害福祉サービスを利用するために利用計画の作成が必須となった影響で、相談支援専門員が大幅に増加した。平成29年度は、事業所の増加等により微増した。</p>	<p>サービスの適性かつ効果的な給付のために相談支援専門員による計画作成を推進している。さらに、障がい福祉サービス利用者の増加に伴い、今後も利用計画の作成のためニーズも増加するものと考えられることから、増加傾向が続くものと考えられる。引き続き、適性かつ効果的な利用計画の作成を推進するため、相談支援専門員の体制の充実に努める。</p>	
		目指す方向性	↑								
展開方向2	自立に向けた就労・社会参加を支援します										
	目的 ○障がいのある人の自立を促進し、生きがい活動などを増進します。 ○就労機会の拡大や職場定着を図ります。										
	所管課 長寿・障がい福祉課										
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容		
民間企業における障がい者の雇用率	%	実績		1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	<p>障害者を雇用した企業に対して、助成金を交付する仕組みが市やハローワークにある。これらの仕組みと障害者雇用への理解が徐々に浸透しており、雇用率は微増傾向にある。</p>	<p>企業の採用意欲の高まりに加え、平成30年度から障害者の法定雇用率が上がるため、雇用率は上昇すると見込まれる。市においても、自立支援協議会就労連絡会を通じた取り組みなど、引き続き、就労及び社会参加を支援をしていく。</p>	
		目指す方向性	↑								
小牧市雇用促進奨励金支給企業数	社	実績		34	29	37	34	37	<p>平成28年度は、対象企業の廃業などにより、支給企業数は減少したが、平成29年度は新たに障害者を雇用した企業に奨励金を交付したため増加となった。要因の一つとしては、自立支援協議会就労連絡会による情報共有が考えられる。</p>	<p>企業の採用意欲の高まりや、障害者の法定雇用率の引き上げにより、支給企業数も増加が見込まれる。引き続き、障がい者が就労、及び社会参加をする支援として本市の奨励金の仕組みを継続する。自立支援協議会就労連絡会にて、就労関係事業所の状況を一般企業に知っていただく取り組み等を通じて、雇用の促進につなげたいと考える。</p>	
		目指す方向性	↑								

小牧市雇用促進奨励金支給対象者数	人	実績	59	49	59	60	61	障害者雇用が促進されてきたことで、新規雇用された対象者が増加した一方で、障害者が就労を継続することには課題が多いことから退職者も多く、指標は横ばいであるが、29年度は新しく雇用される方が退職者を上回ったため、指標が上向いた。	企業の採用意欲の高まりや、障害者の法定雇用率の引き上げにより、指標は上昇傾向が続くものと見込まれる。引き続き、障がい者が就労、及び社会参加をする支援として本市の奨励金の仕組みを継続する。自立支援協議会就労連絡会にて、就労関係事業所の状況を一般企業に知っていただく取り組み等を通じて、雇用の促進につなげたいと考える。
		目指す方向性	↗						
障害者支援施設などへの物品等の発注数	件	実績	12	19	31	32	26	小牧市障害者就労施設等からの物品及び役務の調達方針に基づき、積極的な発注を全庁的に周知したことにより、発注額は増加したものの、一部の品目について取り扱いが困難になった事業所があり、発注数に影響があった。	障がいのある方の就業機会の拡大につながるため、さらなる拡大を図っていかねばならない。引き続き調達方針の策定、庁内周知を行う。実績を把握して分析を行うとともに、取り組みを継続的に進めていく必要がある。
		目指す方向性	↗						
展開方向3	名称	障害福祉サービスなどを充実します							
	目的	○障がいのある人が地域で自立した日常生活を送ることができるよう地域生活を支援するサービスを充実します。							
	所管課	長寿・障がい福祉課							
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
あさひ学園利用者の満足度	%	実績	96.4 (H26年度)	↗	100	100	100	職員が利用者へ寄り添った質の高いサービスが提供されたことにより、利用者の満足度が高い水準を維持することができた。	引き続き、高水準で推移すると考える。全体的な満足度は得られているので、個々のニーズへの対応が課題である。今後も、アンケート等を通してニーズの把握に努め、引き続き、特性を活かして療育支援を進める必要がある。
		目指す方向性	↗						
訪問系サービスの利用者数	人	実績	209	257	338	350	378	障害福祉サービスの対象者となる障害者手帳の所持者等が増加したことや、居宅介護事業所などの事業所の増加により、訪問系サービスの利用者数が増加した。	利用意向が高いことから、今後の利用の増加が見込まれる。引き続き、訪問系サービスが必要な方に適切に提供を行う。
		目指す方向性	↗						
日中活動系サービスの利用者数	人	実績	372	549	595	661	703	障害福祉サービスの対象者となる障害者手帳等の所持者が増加したことや、就労支援事業所等の増加により、日中活動系サービスの利用者数が増加した。	利用意向が高いことから、今後の利用の増加が見込まれる。引き続き、日中活動系サービスが必要な方に適切に提供を行う。
		目指す方向性	↗						